

巻頭言



大分県知事 佐藤 樹一郎

世界から選ばれる大分県を目指して

大分県では、新たな長期総合計画「安心・元気・未来創造ビジョン 2024 ～新しいおおいたの共創～」を2024年9月に策定し、重要な政策の一つとして「海外の成長を取り込み共に発展する大分県の実現」を掲げました。この政策を実行に移すアクションプランとして、海外への挑戦や多文化共生社会の実現を進める新たな「大分県海外戦略」の策定を進めているところです。

海外への挑戦では、牛肉や養殖ブリなどの輸出促進に取り組み、2023年度の農林水産物の輸出額が過去最高となりました。ものづくり産業においても、半導体をはじめとする企業の商談や交流を通じて、海外とのマッチングを進めています。また、海外からの誘客も進め、源泉数・湧出量ともに日本一を誇る温泉や、豊かな自然、美味しい食を多くの方に堪能していただいています。

2024年8月には、知事就任後、初めての海外プロモーションとして台湾を訪問し、県産品や観光のトップセールスや企業誘致セミナーの開催など、本県の魅力を一体的にPRしました。台湾の皆さんから歓迎を受けるとともに、現地メディアでも取り上げられるなど、大変有意義なものとなったと実感しています。

10月には、国際サイクルロードレース「マイナビ ツール・ド・九州 2024 大分ステージ」を開催しました。ヨーロッパの強豪チームも参加し、レベルの高いレース展開を国内外の多くの方に楽しんでいただくとともに、YouTubeの実況を通じて世界へと発信することができました。このような海外からも注目されるイベントの開催に加え、来年2025年は本県を代表する国宝「宇佐神宮」が御鎮座1300年を迎えることや大阪・関西万博も開催されることから、海外から多くの方が訪れることも期待しています。

また、本県では、100を超える国・地域から3,300人以上の留学生が県内の大学などで学んでおり、2023年度人口10万人当たりの留学生数は全国第3位となっています。こうした特色を生かし、留学生がグローバル人材として本県で活躍できるよう、就職・起業による県内定着や地域交流の支援にも努めています。

本県においても技能実習や特定技能の在留資格を持つ外国人労働者の増加が著しく、県内在住外国人数は過去最高を更新しています。今後の育成就労制度の開始に伴う滞在の長期化や帯同家族の増加なども視野に入れて、外国人住民が安心して暮らすことができるよう、日本語教育体制の充実や就業環境の整備などにも取り組んでいます。

このような取り組みを新たな海外戦略において更に加速させて、海外各地域における経済交流のパートナーとして、旅行の目的地や居住地として、世界から選ばれる大分県を目指してまいります。